

授業科目名 <英訳>	美学美術史学(特殊講義) Aesthetics and Art History (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 教授 岡田 暁生					
配当 学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2017・ 前期	曜時限	火3	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目	1970年代の音楽を考える										
【授業の概要・目的】											
<p>ポストモダンが喧伝されるようになる1970年代は音楽の世界でも劇的な変化が生じた時代である。癒し音楽やサンプリングや環境音といった今日の音楽の諸潮流は、ほぼすべてこの時代に端を発しているとみていい。この授業では1970年代の音楽史を、とりわけ現代音楽ならびにモダンジャズに焦点を当てて検討する。その際には、新潮流がまさにそれに対するアンチとして登場してきたはずの、1950/60年代のアヴァンギャルドの黄金時代の考察も、ひとしく重要になる。</p>											
【到達目標】											
<p>20世紀後半の音楽史潮流、とりわけ現代音楽ならびにモダンジャズの歴史についての基本知識を習得すること。また1970年代の音楽と同時代のポストモダン思想との関係を理解すること。</p>											
【授業計画と内容】											
<p>予定しているのは以下のテーマであり、それぞれに3回程度の授業を充てる予定である。  1 - 3回：前衛音楽の黄金時代としての1950/60年代（セリー音楽、偶然音楽、フリージャズ）  4 - 6回：1970年代の音楽史上の出来事  7 - 9回：ミニマルミュージック  10 - 12回：ヨーロッパ・ジャズとECM  13 - 15回：フュージョンならびに音楽演奏のテクノ化</p>											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
<p>レポートによる。評価は到達目標の達成度に基く。独自の工夫が見られるものについては、高い点を与える。単なる既知情報のまとめではなく、各自の明快な問題意識およびその展開を最重視する。</p>											
【教科書】											
<p>使用しない  毎回レジメを配布する。。</p>											
【参考書等】											
<p>（参考書）  岡田暁生 『西洋音楽史』（中公新書）</p>											
【授業外学習（予習・復習）等】											
<p>授業で扱う音楽についてYoutubeなどで適宜実際に聴くこと  （その他（オフィスアワー等））  オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。</p>											